

注3

大学番号：私080

[平成28年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

白百合女子大学 人間総合学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人白百合学園

平成29年5月1日現在

目次

人間総合学部

<児童文化学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	27
7. その他全般的事項	28

<発達心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	32
2. 授業科目の概要	36
3. 施設・設備の整備状況、経費	44
4. 既設大学等の状況	46
5. 教員組織の状況	48
6. 留意事項等に対する履行状況等	59
7. その他全般的事項	60

<初等教育学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	64
2. 授業科目の概要	68
3. 施設・設備の整備状況、経費	77
4. 既設大学等の状況	79
5. 教員組織の状況	81
6. 留意事項等に対する履行状況等	92
7. その他全般的事項	93

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(シライ スミコ) 白井 澄子 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 児童文化学科 学士(児童文化学)	文学関係	4年	50人	- 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	1.26倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	218 (-) [-]	- (-) [-]	215 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	214 (-) [-]	- (-) [-]	206 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	135 (-) [-]	- (-) [-]	128 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	68 (-) [-]	- (-) [-]	58 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.36		1.16			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	68 [-] (-)	- [-] (-)	59 [-] (1)	- [-] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	66 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	68 [-] (-)		125 [-] (1)		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	68人	1人	平成28年度	1人	人	他大学受験準備(1人)	1.47 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	58人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	126人	1人					0.79 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間総合学部 児童文化学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
宗 教 学 科 目	キリスト教学ⅠA	1前	1									兼4
	キリスト教学ⅠB	1後	1									兼4
	キリスト教学Ⅰ	2通	2									兼4
	キリスト教学ⅡA	2前	1									兼5
	キリスト教学ⅡB	2後	1									兼5
	キリスト教学Ⅱ	2通	2									兼4
	宗教学ⅠA	3前	1									兼1
	宗教学ⅠB	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠC	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠD	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠE	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠF	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠG	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠH	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠI	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠJ	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠK	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠL	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠM	3通	2									兼1
	宗教学ⅠN	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠO	3通	2									兼1
	宗教学ⅠP	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠQ	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠR	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠS	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠT(キリスト教的教育実践法)	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠU	3通	2									兼1
	宗教学ⅠV	3通	2									兼1
	宗教学ⅠW	3通	2									兼1
	宗教学ⅠX	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠY	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅠZ	3前 3通	1 2									兼1
	宗教学ⅡA	3後	1									兼1
宗教学ⅡB	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡC	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡD	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡE	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡF	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡG	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡH	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡI	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡJ	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡK	3後 4通	1 2									兼1	
宗教学ⅡL	3後 4通	1 2									兼1	

	宗教学IVR	4後	1																		通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)		
	宗教学IVS	4後	1																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVT	4後	1																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVU	4後	1																		兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	宗教学IVV	4後	1																		兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	宗教学IVW	4後	1																		兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	宗教学IVX	4後	1																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVY	4後	1																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVZ	4後	1																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	人間交流力構築演習A	2・3・4前	2																		兼1		
	人間交流力構築演習B	2・3・4後	2																		兼1		
	ルカ福音書講読演習A	2・3・4前	2																		兼1 担当者学長就任のため担当者変更、後任未定(29)		
	ルカ福音書講読演習B	2・3・4後	2																		兼1 担当者学長就任のため担当者変更、後任未定(29)		
	宗教と文学・思想演習A	2・3・4前	2																		兼1		
	宗教と文学・思想演習B	2・3・4後	2																		兼1		
	いのちと家族演習A	2・3・4前	2																		兼1		
	いのちと家族演習B	2・3・4後	2																		兼1		
	祈りと女性演習A	2・3・4前	2																		兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	祈りと女性演習B	2・3・4後	2																		兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
共通科目	文化と人間	1・2・3・4通	4																		兼1		
	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2																		兼1		
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	哲学	1・2・3・4通	4																		兼1		
	現代思想Ⅰ	1・2・3・4後 1-2-3-4前 1-2-3-4後	2																			カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)	
	現代思想Ⅱ	1・2・3・4後	2																			兼2	
	世界の中の日本思想	1・2・3・4通	4																			兼1	
	美学	1・2・3・4通	4																			兼1	
	美術史Ⅰ	1・2・3・4前	2																			兼1	
	美術史Ⅱ	1・2・3・4後	2																			兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	美術史	1・2・3・4通	4																			兼1	
	神話の世界A	1・2・3・4前	2																			兼1	
	神話の世界B	1・2・3・4前	2																			兼1	
	神話学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2																			兼1	
	神話学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2																			兼1	
	コンピュータ文学研究A	1・2・3・4通	4																			兼1	
	コンピュータ文学研究B	1・2・3・4通	4																			兼1	
	教養としての日本語	1・2・3・4前後 1-2-3-4後 2-3-4後	2																				カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	日本語を磨く(読解力を養う)	1・2・3・4前後	2																			兼2	
	日本語を磨く(文章力を養う)	1・2・3・4前後	2																			兼2	
	美しい日本語を話す(基礎)	1・2・3・4前後 1-2-3-4前 1-2-3前後	2																				カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	美しい日本語を話す(実践)	1・2・3・4前後 2-3-4前後	2																				カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	コミュニケーションのための日本語	1・2・3・4前後 1-2-3-4後	2																				カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	日本中世文化史	1・2・3・4通	4																			兼1	
	日本近代文化史	1・2・3・4通	4																			兼1	
	日本の外交と社会史	1・2・3・4前後	2																			兼1	
	西洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2																			兼1	
	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2																			兼1	
	歴史からみた現代	1・2・3・4後	2																			兼1	
	豊かさの中の経済	1・2・3・4前	2																			兼1	
	暮らしと現代経済	1・2・3・4後	2																			兼1	
	政治学A	1・2・3・4前	2																			兼1	
政治学B	1・2・3・4前	2																			兼1		

憲法	1・2・3・4前後	2						兼1	
法とは何か	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
家族社会学	1・2・3・4前	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
ワークライフ論	1・2・3・4後	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と文学	1・2・3・4後	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と人権	1・2・3・4後	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と社会A	1・2・3・4通	4						兼1	担当者辞任、後任未定(29)
男女共同参画と政策	1・2・3・4通	4						兼1	担当者未定(29)
犯罪学概論	1・2・3・4後 4・2・3・4前	2						兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
女性と法	1・2・3・4前	2						兼1	
子どもの権利と国際社会	1・2・3・4通	4						兼1	担当者未定(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅰ	1・2・3・4前	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅱ	1・2・3・4後	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅲ	1・2・3・4前	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅳ	1・2・3・4後	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
海外ボランティア実践演習A	1・2・3・4前	2						兼1	
海外ボランティア実践演習B	1・2・3・4後	2						兼1	
社会福祉と私たち	1・2・3・4前	2						兼1	担当者未定(29)
児童と家庭の福祉	1・2・3・4後	2						兼1	
国際協力論A	1・2・3・4前	2						兼1	
国際協力論B	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
社会活動におけるマネジメントA	1・2・3・4前	2						兼1	
社会活動におけるマネジメントB	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
食農フィールド演習	1・2・3・4通 2・3・4通	4						兼2	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
食と環境	1・2・3・4前	2						兼1	
環境学のフロンティア	1・2・3・4後	2						兼1	
観光文化論	1・2・3・4後	2						兼1	
住居と人間	1・2・3・4通	4						兼1	学長交代に伴う科目の追加(28)
はじめての心理学	1・2・3・4通	4						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
環境心理学	2・3・4通	4						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
コミュニティ心理学	2・3・4通	4						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
現代心理学概論	1・2・3・4通	4						兼1	
パブリックリテラシー	1前	2						兼0 兼7	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
情報リテラシー	1後	2						兼0 兼7	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通	4						兼1	
メディア・デザインスキルA	2・3・4前 2・3・4前後	2						兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
メディア・デザインスキルB	2・3・4前	2						兼1	
アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前	4						兼2 兼3	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前後	2						兼1	
スポーツ・健康科学B	1・2・3・4前後	2						兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者の変更(29)
スポーツ・健康科学C	1・2・3・4前後	2						兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者の変更(29)
身体運動科学	1・2・3・4通	4						兼1	
教養総合セミナーA	1・2・3・4前後 1・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
教養総合セミナーB	1・2・3・4前後	2						兼1	
教養総合セミナーC	1・2・3・4前	2						兼2	
教養総合セミナーD	1・2・3・4後	2						兼1	
教養総合セミナーE								兼2	履修定員増加に伴い担当者を追加(28)
教養総合セミナーF	1・2・3・4後	2						兼1	
教養総合セミナーF	1・2・3・4後	2						兼1	

外国語科目	必修	数と形の世界A	1・2・3・4前 4-2-3-4後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
		数と形の世界B	1・2・3・4後 4-2-3-4前	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
		自然科学の世界A	1・2・3・4前	2							兼1	
		自然科学の世界B	1・2・3・4後	2							兼1	
		社会と倫理	1・2・3・4前後	2							兼1	
	選択	総合英語 I	1前	1							兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		総合英語 II	1後	1							兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		総合英語 III	2前	1							兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		総合英語 IV	2後	1							兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英語コミュニケーション I	1前	1							兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		英語コミュニケーション II	1後	1							兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		英語コミュニケーション III	2前	1							兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英語コミュニケーション IV	2後	1							兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英講読文法A	1通	2							兼1	担当者辞任、後任未定(29)
		上級総合英語 I	3・4前	1							兼1	
		上級総合英語 II	3・4後	1							兼1	
		上級英語コミュニケーション I	3・4前	1							兼2 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		上級英語コミュニケーション II	3・4後	1							兼2 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		English for JFL Teachers I	3通	2							兼1	
		English for JFL Teachers II	4通	2							兼1	
初級フランス語	2・3・4通	2							兼1			
フランス語入門	1・2・3・4通	2							兼1			
フランス語 I (文法・講読)	1通	2							兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)		
フランス語 II (文法・講読)	2通	2							兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)		
フランス語 I (会話)	1通	2							兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)		
フランス語 II (会話)	2通	2							兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)		
ドイツ語 I A	1通	2							兼2			
ドイツ語 II A	2通	2							兼2			
ドイツ語 I B	1通	2							兼2			
ドイツ語 II B	2通	2							兼2			
中国語(初級)	1・2・3・4通	4							兼1			
中国語(中級)A	2・3・4通	2							兼1			
中国語(中級)B	2・3・4通	2							兼1	カリキュラム編成上の科目の分割(29)		
中国語(中級)	2・3・4通	4							兼1			
韓国語(初級)	1・2・3・4通	4							兼1			
韓国語(中級)A	2・3・4通	2							兼1			
韓国語(中級)B	2・3・4通	2							兼1	カリキュラム編成上の科目の分割(29)		
韓国語(中級)	2・3・4通	4							兼1			
学部共通科目	子どものイメージ	1・2前	2		1							
	子どもとファンタジー	1・2後	2		1							
	子育て支援論	1・2前	2							兼1		
	発達と文化	1・2後	2							兼1		
	学校と発達	1・2前	2							兼1		
	家庭の教育・地域の教育	1・2後	2							兼1		
専門科目	必修	児童文学入門A	1前後	2		1						
		児童文学入門B	1前後	2		1						
		児童文学史・日本 I	1前	2		1						
		児童文学史・日本 II	1後	2		1						
		児童文化入門A	1前後	2		1						
		児童文化入門B	1前後	2		1						
		児童文学史・英語圏 I	2前	2		1						

	児童文学史・英語圏Ⅱ	2後	2		1				
	卒業論文	4通	8		6	1			
	キャリア研究	2前	2		1				
選択必修Ⅰ	基礎演習A	2前	2		2	1	1		兼2
	基礎演習B	2後	2		2	1	1		兼2
選択必修Ⅱ	演習	3通	4		6	1			
選択 A	日本児童文学研究A	1・2・3前	2						兼1
	日本児童文学研究B	1・2・3後	2						兼1
	英米児童文学研究A	1・2・3前	2						兼1
	英米児童文学研究B	1・2・3後	2						兼1
	伝承文学研究	1・2・3後	2		1				
	創作文化研究Ⅰ	1・2・3前	2			1			
	創作文化研究Ⅱ	1・2・3後	2			1			
	キャラクター文化研究	1・2・3後	2						兼1
	ストーリーテリング研究Ⅰ	1・2・3前	2						兼1
	ストーリーテリング研究Ⅱ	1・2・3後	2						兼1
	ストーリーテリング研究Ⅲ	1・2・3前	2						兼1
	わらべうた研究	1・2・3前	2						兼1
	マザーグース研究	1・2・3後	2						兼1
	絵本制作研究Ⅰ	1・2・3前	2						兼1
	絵本制作研究Ⅱ	1・2・3後	2						兼1
	編集研究	1・2・3前	2						兼1
	出版演習Ⅰ	1・2・3前	2						兼1
	出版演習Ⅱ	1・2・3後	2						兼1
	アニメーション制作Ⅰ	1・2・3前	2				1		
	アニメーション制作Ⅱ	1・2・3後	2				1		
選択 B	児童文学・日本A	1・2・3・4前	2						兼1
	児童文学・日本B	1・2・3・4後	2						兼1
	児童文学・日本C	1・2・3・4前	2						兼1
	児童文学・日本D	1・2・3・4後	2						兼1
	児童文学・ドイツA	1・2・3・4後	2		1				
	児童文学・ドイツB	1・2・3・4前	2						兼1
	児童文学・イギリスA	1・2・3・4前	2				1		
	児童文学・イギリスB	1・2・3・4後	2						兼1
	児童文学・フランスA	1・2・3・4前	2						兼1
	児童文学・フランスB	1・2・3・4後	2						兼1
	児童文学・アメリカA	1・2・3・4前	2						兼1
	児童文学・アメリカB	1・2・3・4後	2						兼1
	児童文学・カナダ	1・2・3・4前	2		1				
	児童文学・北欧	1・2・3・4前	2						兼1
	児童文学・韓国	1・2・3・4後	2						兼1
	児童文学・YA文学	1・2・3・4後	2		1				
	おもちゃ論A	1・2・3・4前	2		1				
	おもちゃ論B	1・2・3・4後	2		1				
	キャラクター論	1・2・3・4前	2						兼1
	マンガ論	1・2・3・4後	2						兼1
	アニメ論	1・2・3・4前	2						兼1
	絵本論	1・2・3・4後	2						兼1
	創作演習AⅠ	1・2・3・4前	2						兼1
	創作演習AⅡ	1・2・3・4後	2						兼1
	創作演習BⅠ	1・2・3・4前	2						兼1
	創作演習BⅡ	1・2・3・4後	2						兼1
	翻訳演習Ⅰ	1・2・3・4前	2						兼1
翻訳演習Ⅱ	1・2・3・4後	2						兼1	
伝承文学	2・3・4前	2		1					
SFファンタジーⅠ	2・3・4前	2						兼1	
SFファンタジーⅡ	2・3・4後	2						兼1	
ネオ・ファンタジーⅠ	2・3・4前	2		1					
ネオ・ファンタジーⅡ	2・3・4後	2		1					

児童文化・紙芝居	2・3・4前	2		1					
児童文化・民俗と子ども	2・3・4後	2							兼1
児童文化・子ども社会学	2・3・4前	2							兼1
児童文化・子ども論	2・3・4後	2							兼1
絵本演習Ⅰ	2・3・4前	2			1				
絵本演習Ⅱ	2・3・4後	2			1				
絵本制作Ⅰ	2・3・4前	2							兼1
絵本制作Ⅱ	2・3・4後	2							兼1

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 23	科目 210	科目 0	科目 233	科目 25	科目 288	科目 0	科目 313	
				[2]	[78]	[-]	[80]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
2	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
3	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
4	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
5	ルカ福音書講読演習A	2	2・3・4前	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
6	ルカ福音書講読演習B	2	2・3・4後	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
7	暮らしと現代経済	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者辞任、後任未就任のため未開講。代替措置なし。
8	政治学B	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者辞任、後任未就任のため未開講。代替措置なし。
9	女性と社会A	4	1・2・3・4通	一般	選択	科目新設に伴う科目調整のため未開講。代替措置なし。
10	英講読文法A	2	1通	一般	必修	外国語科目見直しのため未開講。「総合英語」で代替。
11	おもちゃ論A	2	1・2・3・4前	専門	選択	担当者研究期間中のため未開講、代替措置なし。
12	おもちゃ論B	2	1・2・3・4後	専門	選択	担当者研究期間中のため未開講、代替措置なし。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養科目については選択科目であり、他に多くの一般教養科目が設置されていることから、学生の履修については他の科目で補うことができる。「英講読文法A」は外国語必修科目「総合英語Ⅰ/Ⅱ」に対する英語未修者用科目であるが、「総合英語」で未修者対応が可能であることから未開講としている。「おもちゃ論A/B」は担当者が研究期間中のため2017年度に限り休講。1～4年次の選択科目であるため、学生は他の年度で履修することができる。学生には履修要覧に記載するとともにガイダンス等で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{12}{233} = \boxed{5.15}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡				
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡				
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡				
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡				
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡				
		(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)				
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		39室	15室	10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		人間総合学部			29 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 322,151 〔109,025〕 (292,306〔109,223〕) (291,013〔105,719〕) (296,036 〔105,301〕) 学術雑誌 5,756〔918〕 (4,386〔934〕) (4,457〔952〕) (4,278〔894〕) 廃刊あるいは洋雑誌費高騰による中止などのため(29) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため(28)	
	人間総合学部	34,704〔7,914〕 (23,132〔6,740〕) (22,115〔6,597〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (159〔57〕) (154〔54〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)		
	計	34,704〔7,914〕 (23,132〔6,740〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (159〔57〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (140) (156)	91 (76)	0 (0)		
(6) 図書館		面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		3,769㎡		217	320,556				
(7) 体育館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		1,547㎡		テニスコート3面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 実績に基づき設備購入費を変更(29) 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	21,000千円 28,000千円	
	共同研究費等	3,000千円 4,000千円	3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	8,450千円 10,000千円 24,000千円	8,450千円 10,000千円 24,000千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—	—		
		学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入定 学員	編入学 定員	収定 容員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.15	昭和40年度	同上	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.18	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.14	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和60年度	同上	平成28年学生募集停止
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	100	学士 (児童文化 学)	1.26	平成28年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁 目25番地	
発達心理学科	4	50	-	100	学士 (心理学)	1.23	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	150	学士 (教育学)	1.01	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程・博士課程（前期）									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.70	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	1.16	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.66	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.41	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.33	平成7年度	同上	
博士課程（後期）									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理学)	0.41	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士 (文学)	0.66	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士 (文学)	0.46	平成9年度	同上	

大学の名称	仙台白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地
人間学部	年	人	年次人	人		倍			
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士 (人間科学)	0.78	平成8年度		宮城県仙台市泉区本田町 6番1号
心理福祉学科	4	70	0	280	学士 (人間科学)	0.64	平成25年度		同上
健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士 (人間科学)	0.99	平成14年度		同上
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士 (人間科学)	0.83	平成25年度		同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	人間総合学部児童文化 学科の入学定員超過の 改善に努めること。	改善意見	昨年状況をふまえ、今年 は合格者数を抑えたため、 適正な入学者数になった。
	同一設置者が設置する 既設学部等（仙台白百 合女子大学人間学部人 間発達学科、心理福祉 学科）の定員充足率の 平均が0.7倍未満とな っていることから、 学生確保に努めるとと もに、入学定員の見直 しについて検討するこ と。	改善意見	報告時の平均入学定員超過 率の数値に誤りがあった （単年度の数値を記載）。 実際には人間発達学科は 0.86倍、心理福祉学科は 0.74倍となる。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 児童文化学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD推進委員会 白百合女子大学FD推進委員会規程（添付）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は月1回、定期開催をする。 全学的な委員会のため、教員は、各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業改善アンケートの改善と結果の活用について検討を行っている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のための学生アンケート/専任教員所見票回収/改善点検討 ・ FDワークショップ ・ よりよい学びのための学生懇話会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法 授業改善のための学生アンケートは開講期末（前期科目は前期末、通年科目と後期科目は後期末）に実施されている。またアンケートの結果を用いて、学生からの評価の高い教員への表彰を行うことを検討している。2016年7月には現状のアンケートについて、教員を対象に意見を募り、それをもとに見直しを検討している。 FDワークショップについては2017年6/1（木）に大学教育改革の動向に関する学習会と、学生の学びを深める取り組みに関する情報交換会を実施予定である。 よりよい学びのための学生懇話会については学部と大学院を交互に隔年実施している。2016年度は学部生を対象に実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 授業改善のための学生アンケートは原則全科目対象としている。FDワークショップについては専任教員は必須参加とし、欠席者には後日ビデオ学習をを求める予定である。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善のための学生アンケートについては、教員ごとに集計され担当教員へ結果が通知され、各教員がそれぞれ改善に努め、専任教員については所見票を提出することになっている。また希望する教員については、大学ホームページ上で学生の意見に対する回答を公開することも可能になっているが、教員がコメントを公開していることについて学生の認知度が低いことが学生懇話会などを通じてわかり、改善点や改善への取り組み姿勢が学生に伝わるよう伝え方を改善することも課題になっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員および学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にWEB公開している。また教員には個別に結果を報告している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

まだ1・2年次生のみであるが、授業時のリアクションペーパーなどから判断して、現学科の前身である文学部児童文化学科児童文学・文化専攻から初等教育課程を外し、児童文化と児童文学に特化したカリキュラム内容にした結果、専門性が明確になり、学生が自ら求めるテーマの学習や研究に積極的に取り組んでいることが分かる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年4月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく申請済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年7月1日)

白百合女子大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得または向上を組織的に支援するためにFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、全学のファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動が持続的に実行されるよう、次に掲げる事項を行うとともに、各年度におけるFD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD活動に向けた諸施策の企画・立案
- (2) FD活動実施の推進
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、第1条に掲げる設置目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 各学科および各教育センターより選出された教員各1名
- (2) 学長が委嘱する教員若干名
- (3) 学長が委嘱する職員若干名
 - 2 委員長は委員の中からの互選とする。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会)

第4条 委員会は、第2条に掲げる事項に関し専門的作業を行うため、部会を置くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則 この規程は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。
この規程は、2010年(平成22年)4月1日から施行する。
この規程は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。
この規程は、2016年(平成28年)4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(スズキ タダシ) 鈴木 忠 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 発達心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	50人	- 年次人	200人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	50人 (-) [-]	人 () []	1.23倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	297 (-) [-]	- (-) [-]	273 (4) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	282 (-) [-]	- (-) [-]	260 (3) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	146 (-) [-]	- (-) [-]	125 (2) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	62 (-) [-]	- (-) [-]	62 (2) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.24		1.23			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	62 [-] (-)	- [-] (-)	62 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	63 [-] (-)	0 [-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	62 [-] (-)	[] ()	125 [-] (-)	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	62人	1人	平成28年度	1人	人	他大学進学(1人)	1.61 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	62人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	124人	1人					0.80 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間総合学部 発達心理学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教	授	准教授	講師	助教	助手		
宗 教 学 科 目	キリスト教学ⅠA	1前	1									兼4	
	キリスト教学ⅠB	1後	1									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	キリスト教学Ⅰ	2通	2									兼4	
	キリスト教学ⅡA	2前	1									兼5	
	キリスト教学ⅡB	2後	1									兼5 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	キリスト教学Ⅱ	2通	2									兼4	
	宗教学ⅠA	3前		1									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠB	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠC	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠD	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠE	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠF	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠG	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠH	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠI	3前 3通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)
	宗教学ⅠJ	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠK	3前 3通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者辞任、後任未定(29)
	宗教学ⅠL	3前 3通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者辞任、後任未定(29)
	宗教学ⅠM	3通		2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠN	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠO	3通		2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠP	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠQ	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠR	3前 3通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)
	宗教学ⅠS	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠT(キリスト教的教育実践法)	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠU	3通		2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠV	3通		2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠW	3通		2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠX	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠY	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠZ	3前 3通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡA	3後		1									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅡB	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡC	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡD	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡE	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡF	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡG	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡH	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
宗教学ⅡI	3後 4通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)	
宗教学ⅡJ	3後 4通		1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡK	3後 4通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者辞任、後任未定(29)	
宗教学ⅡL	3後 4通		1 2									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者辞任、後任未定(29)	

	宗教学IVR	4後	1																	通年科目の半期化のため科目を分割、担当者学 長就任のため担当者の変更、後任未定(29)		
	宗教学IVS	4後	1																	兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVT	4後	1																	兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVU	4後	1																	兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	宗教学IVV	4後	1																	兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	宗教学IVW	4後	1																	兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	宗教学IVX	4後	1																	兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVY	4後	1																	兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	宗教学IVZ	4後	1																	兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	人間交流力構築演習A	2・3・4前	2																	兼1		
	人間交流力構築演習B	2・3・4後	2																	兼1		
	ルカ福音書講読演習A	2・3・4前	2																	兼1 担当者学長就任のため担当者変更、後任未定(29)		
	ルカ福音書講読演習B	2・3・4後	2																	兼1 担当者学長就任のため担当者変更、後任未定(29)		
	宗教と文学・思想演習A	2・3・4前	2																	兼1		
	宗教と文学・思想演習B	2・3・4後	2																	兼1		
	いのちと家族演習A	2・3・4前	2																	兼1		
	いのちと家族演習B	2・3・4後	2																	兼1		
	祈りと女性演習A	2・3・4前	2																	兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
	祈りと女性演習B	2・3・4後	2																	兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)		
共通 科目	文化と人間	1・2・3・4通	4																	兼1		
	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2																	兼1		
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2																	兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)		
	哲学	1・2・3・4通	4																	兼1		
	現代思想Ⅰ	1・2・3・4後 1・2・3・4前 1・2・3・4後	2																		カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)	
	現代思想Ⅱ	1・2・3・4後	2																		兼2	
	世界の中の日本思想	1・2・3・4通	4																		兼1	
	美学	1・2・3・4通	4																		兼1	
	美術史Ⅰ	1・2・3・4前	2																		兼1	
	美術史Ⅱ	1・2・3・4後	2																		兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	美術史	1・2・3・4通	4																		兼1	
	神話の世界A	1・2・3・4前	2																		兼1	
	神話の世界B	1・2・3・4前	2																		兼1	
	神話学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2																		兼1	
	神話学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2																		兼1	
	コンピュータ文学研究A	1・2・3・4通	4																		兼1	
	コンピュータ文学研究B	1・2・3・4通	4																		兼1	
	教養としての日本語	1・2・3・4前後 1・2・3・4後 2・3・4後	2																			カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	日本語を磨く(読解力を養う)	1・2・3・4前後	2																			兼2
	日本語を磨く(文章力を養う)	1・2・3・4前後	2																			兼2
	美しい日本語を話す(基礎)	1・2・3・4前後 1・2・3・4前 1・2・3前後	2																			カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	美しい日本語を話す(実践)	1・2・3・4前後 2・3・4前後	2																			カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	コミュニケーションのための日本語	1・2・3・4前後 1・2・3・4後	2																			カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	日本中世文化史	1・2・3・4通	4																			兼1
	日本近代文化史	1・2・3・4通	4																			兼1
	日本の外交と社会史	1・2・3・4前後	2																			兼1
	西洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2																			兼1
	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2																			兼1
	歴史からみた現代	1・2・3・4後	2																			兼1
	豊かさの中の経済	1・2・3・4前	2																			兼1
	暮らしと現代経済	1・2・3・4後	2																			兼1
	政治学A	1・2・3・4前	2																			兼1
	政治学B	1・2・3・4前	2																			兼1

憲法	1・2・3・4前後	2							兼1	
法とは何か	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
家族社会学	1・2・3・4前	2							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
ワークライフ論	1・2・3・4後	2							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と文学	1・2・3・4後	2							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と人権	1・2・3・4後	2							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と社会A	1・2・3・4通	4							兼1	担当者辞任、後任未定(29)
男女共同参画と政策	1・2・3・4通	4							兼1	担当者未定(29)
犯罪学概論	1・2・3・4後 1・2・3・4前	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
女性と法	1・2・3・4前	2							兼1	
子どもの権利と国際社会	1・2・3・4通	4							兼1	担当者未定(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅰ	1・2・3・4前	2 4							兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅱ	1・2・3・4後	2 4							兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅲ	1・2・3・4前	2 4							兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅳ	1・2・3・4後	2 4							兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
海外ボランティア実践演習A	1・2・3・4前	2							兼1	
海外ボランティア実践演習B	1・2・3・4後	2							兼1	
社会福祉と私たち	1・2・3・4前	2							兼1	担当者未定(29)
児童と家庭の福祉	1・2・3・4後	2							兼1	
国際協力論A	1・2・3・4前	2							兼1	
国際協力論B	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
社会活動におけるマネジメントA	1・2・3・4前	2							兼1	
社会活動におけるマネジメントB	1・2・3・4前 1・2・3・4後	2							兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
食農フィールド演習	1・2・3・4通 2・3・4通	4							兼2	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
食と環境	1・2・3・4前	2							兼1	
環境学のフロンティア	1・2・3・4後	2							兼1	
観光文化論	1・2・3・4後	2							兼1	
住居と人間	1・2・3・4通	4							兼1	学長交代に伴う科目の追加(28)
はじめての心理学	1・2・3・4通	4							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
環境心理学	2・3・4通	4							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
コミュニティ心理学	2・3・4通	4							兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
現代心理学概論	1・2・3・4通	4							兼1	
パブリックリテラシー	1前	2							兼8 兼7	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
情報リテラシー	1後	2							兼8 兼7	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通	4							兼1	
メディア・デザインスキルA	2・3・4前 2・3・4前後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
メディア・デザインスキルB	2・3・4前	2							兼1	
アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前	4							兼2 兼3	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前後	2							兼1	
スポーツ・健康科学B	1・2・3・4前後	2							兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者の変更(29)
スポーツ・健康科学C	1・2・3・4前後	2							兼3 兼2	カリキュラム編成上の担当者の変更(29)
身体運動科学	1・2・3・4通	4							兼1	
教養総合セミナーA	1・2・3・4前後 1・2・3・4後	2							兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
教養総合セミナーB	1・2・3・4前後	2							兼1	
教養総合セミナーC	1・2・3・4前	2							兼2	
教養総合セミナーD	1・2・3・4後	2							兼1	
教養総合セミナーE	1・2・3・4後	2							兼2	履修定員増加に伴い担当者を追加(28)
教養総合セミナーF	1・2・3・4後	2							兼1	

		数と形の世界A	1・2・3・4前 1+2・3・4後	2															カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)		
		数と形の世界B	1・2・3・4後 1+2・3・4前	2															カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)		
		自然科学の世界A	1・2・3・4前	2															兼1		
		自然科学の世界B	1・2・3・4後	2															兼1		
		社会と倫理	1・2・3・4前後	2															兼1		
外国語科目	必修	総合英語 I	1前	1															兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		総合英語 II	1後	1															兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		総合英語 III	2前	1															兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(29)	
		総合英語 IV	2後	1															兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(29)	
		英語コミュニケーション I	1前	1																兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		英語コミュニケーション II	1後	1																兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		英語コミュニケーション III	2前	1																兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英語コミュニケーション IV	2後	1																兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英講読文法 A	1通	2																兼1	担当者辞任、後任未定(29)
	選択	上級総合英語 I	3・4前	1																兼1	
		上級総合英語 II	3・4後	1																兼1	
		上級英語コミュニケーション I	3・4前	1																兼2 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		上級英語コミュニケーション II	3・4後	1																兼2 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		English for JFL Teachers I	3通	2																兼1	
		English for JFL Teachers II	4通	2																兼1	
		初級フランス語	2・3・4通	2																兼1	
		フランス語入門	1・2・3・4通	2																兼1	
		フランス語 I (文法・講読)	1通	2																兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		フランス語 II (文法・講読)	2通	2																兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		フランス語 I (会話)	1通	2																兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		フランス語 II (会話)	2通	2																兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		ドイツ語 I A	1通	2																兼2	
		ドイツ語 II A	2通	2																兼2	
		ドイツ語 I B	1通	2																兼2	
		ドイツ語 II B	2通	2																兼2	
		中国語(初級)	1・2・3・4通	4																兼1	
		中国語(中級)A	2・3・4通	2																兼1	
中国語(中級)B		2・3・4通	2																兼1	カリキュラム編成上の科目の分割(29)	
中国語(中級)		2・3・4通	4																兼1		
韓国語(初級)	1・2・3・4通	4																兼1			
韓国語(中級)A	2・3・4通	2																兼1			
韓国語(中級)B	2・3・4通	2																兼1	カリキュラム編成上の科目の分割(29)		
韓国語(中級)	2・3・4通	4																兼1			
学部共通科目	子どものイメージ	1前	2																兼1		
	子どもとファンタジー	1後	2																兼1		
	子育て支援論	1前	2			1															
	発達と文化	1後	2			1															
	学校と発達	1前	2																兼1		
	家庭の教育・地域の教育	1後	2																兼1		
	専門科目	必修科目	心理学概論A	1前	2			1													
心理学概論B			1後	2			1														
発達心理学基礎演習A			1前	2			2	1													
発達心理学基礎演習B			1後	2			2	1													
心理統計学 I A			1後	2																兼1	
臨床心理学概論			1後	2			1	1													担当者研究期間中のため担当者を変更(29)
発達心理学概論A			2前	2				1													

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 32	科目 180	科目 0	科目 212	科目 34 [2]	科目 258 [78]	科目 0 [-]	科目 292 [80]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
2	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
3	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
4	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
5	ルカ福音書講読演習 A	2	2・3・4前	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
6	ルカ福音書講読演習 B	2	2・3・4後	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
7	暮らしと現代経済	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者辞任、後任未就任のため未開講、代替措置なし。
8	政治学 B	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者辞任、後任未就任のため未開講、代替措置なし。
9	女性と社会 A	4	1・2・3・4通	一般	選択	科目新設に伴う科目調整のため未開講、代替措置なし。
10	英講読文法 A	2	1通	一般	必修	外国語科目見直しのため未開講。「総合英語」で代替。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養科目については選択科目であり、他に多くの一般教養科目が設置されていることから、学生の履修については他の科目で補うことができる。「英講読文法 A」は外国語必修科目「総合英語 I / II」に対する英語未修者用科目であるが、「総合英語」で未修者対応が可能であることから未開講としている。学生には履修要覧に記載するとともにガイダンス等で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{10}{212} = \boxed{4.71} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡				
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡				
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡				
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡				
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡				
(2) 校舎	専 用	28,212㎡	0㎡	0㎡	28,212㎡				
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)					
(3) 教室等	講義室	39室	15室	10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)	大学全体		
	演習室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	人間総合学部			29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書 322,151 〔109,025〕 (292,306〔109,223〕) (291,013〔105,710〕) (296,036 〔105,301〕) 学術雑誌 5,756〔918〕 (4,386〔934〕) (4,457〔952〕) (4,278〔894〕) 廃刊あるいは洋雑誌費高騰による中止などのため(29) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため(28)	
		冊	種	〔うち外国書〕					
	人間総合学部	(23,132〔6,740〕) (22,115〔6,597〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (159〔57〕) (154〔54〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)		
	計	34,704〔7,914〕 (23,132〔6,740〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (159〔57〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (140) (156)	91 (76)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,769㎡		217		320,556				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	1,547㎡		テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 実績に基づき設備購入費を変更(29) 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当たり研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	21,000千円 28,000千円	
		共同研究費等	3,000千円 4,000千円	3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	8,450千円 10,000千円 24,000千円	8,450千円 10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入 学 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超 過 率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.15	昭和40年度	同上	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.18	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.14	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和60年度	同上	平成28年学生募集停止
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	100	学士 (児童文化 学)	1.26	平成28年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁 目25番地	
発達心理学科	4	50	-	100	学士 (心理学)	1.23	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	150	学士 (教育学)	1.01	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程・博士課程（前期）									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.70	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	1.16	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.66	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.41	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.33	平成7年度	同上	
博士課程（後期）									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理学)	0.41	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士 (文学)	0.66	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士 (文学)	0.46	平成9年度	同上	

大学の名称	仙台白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員	編入学 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間学部 人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士 (人間科 学)	0.78	平成8年度	宮城県仙台市泉区本町 6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士 (人間科 学)	0.64	平成25年度	同上	
健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士 (人間科 学)	0.99	平成14年度	同上	
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士 (人間科 学)	0.83	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年度)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 教員組織の年齢構成を適正なものにすべく、将来構想について検討を始めた。	定年及び定年を超える教員の後任人事について、28年度及び29年度にかけて検討を行う。
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	人間総合学部発達心理学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 定年規程の趣旨を踏まえつつ教員組織の年齢構成を適正なものにすることを具体的に検討している。	定年及び定年を超える教員の後任人事について検討を継続するとともに、今年度末に退職予定の1名の後任人事を、改善意見を踏まえて実施する予定である。
	同一設置者が設置する既設学部等（仙台白百合女子大学人間学部人間発達学科、心理福祉学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見 報告時の平均入学定員超過率の数値に誤りがあった（単年度の数値を記載）。実際には人間発達学科は0.86倍、心理福祉学科は0.74倍となる。	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 発達心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD推進委員会</p> <p>白百合女子大学FD推進委員会規程（添付）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>委員会は月1回、定期開催をする。</p> <p>全学的な委員会のため、教員は、各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>授業改善アンケートの改善と結果の活用について検討を行っている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業改善のための学生アンケート/専任教員所見票回収/改善点検討・ FDワークショップ・ よりよい学びのための学生懇話会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法</p> <p>授業改善のための学生アンケートは開講期末（前期科目は前期末、通年科目と後期科目は後期末）に実施されている。またアンケートの結果を用いて、学生からの評価の高い教員への表彰を行うことを検討している。2016年7月には現状のアンケートについて、教員を対象に意見を募り、それをもとに見直しを検討している。</p> <p>FDワークショップについては2017年6/1（木）に大学教育改革の動向に関する学習会と、学生の学びを深める取り組みに関する情報交換会を実施予定である。</p> <p>よりよい学びのための学生懇話会については学部と大学院を交互に隔年実施している。2016年度は学部生を対象に実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>授業改善のための学生アンケートは原則全科目対象としている。FDワークショップについては専任教員は必須参加とし、欠席者には後日ビデオ学習をを求める予定である。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善のための学生アンケートについては、教員ごとに集計され担当教員へ結果が通知され、各教員がそれぞれ改善に努め、専任教員については所見票を提出することになっている。また希望する教員については、大学ホームページ上で学生の意見に対する回答を公開することも可能になっているが、教員がコメントを公開していることについて学生の認知度が低いことが学生懇話会などを通じてわかり、改善点や改善への取り組み姿勢が学生に伝わるよう伝え方を改善することも課題になっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員および学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にWEB公開している。また教員には個別に結果を報告している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置2年目にあたり、入試においては1年生62名を確保した。倍率は1.9倍であり、まずまずの結果であると捉えている。

教育課程については、申請したカリキュラムが、担当者の一部の変更があるものの、計画通りに進んでいる。2年次の専門科目として臨床心理学概論、発達臨床心理学概論、心理学実験観察演習Ⅰ・Ⅱ、論文講読基礎演習、英語論文講読演習が予定どおり開講する。中でも心理学実験観察演習においては、従前の内容を見直し、1年次から習得しつつある心理統計学との連結をより重視する内容にする一方、心理検査の時間数を増やすなど実践的性格をもたせることにも配慮した。この授業を軸としつつ、2つの概論及び論文講読演習を通じて、設置の趣旨のとおり、発達心理学の専門知識を修める基礎としての、心理学の基礎的知識と技能の習得が進むものと期待される。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年4月 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく申請済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年7月1日)

白百合女子大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得または向上を組織的に支援するためにFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、全学のファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動が持続的に実行されるよう、次に掲げる事項を行うとともに、各年度におけるFD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD活動に向けた諸施策の企画・立案
- (2) FD活動実施の推進
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、第1条に掲げる設置目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 各学科および各教育センターより選出された教員各1名
- (2) 学長が委嘱する教員若干名
- (3) 学長が委嘱する職員若干名
 - 2 委員長は委員の中からの互選とする。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会)

第4条 委員会は、第2条に掲げる事項に関し専門的作業を行うため、部会を置くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則 この規程は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。
この規程は、2010年(平成22年)4月1日から施行する。
この規程は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。
この規程は、2016年(平成28年)4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人白百合学園

(2) 大学名

白百合女子大学

(3) 大学の位置

〒182-8525
東京都調布市緑ヶ丘1丁目25番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シキイ クミコ) 式井 久美子 (平成13年4月)		
学長	(ヤマノウチ コウタロウ) 山内 宏太郎 (平成19年4月)	(タバタ クニハル) 田畑 邦治 (平成28年4月)	任期満了により変更(28)
学部長	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		
学科長等	(ミヤシタ タカヒロ) 宮下 孝広 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間総合学部 初等教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	75人	- 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	75 (-) [-]	() []	75 (-) [-]	() []	1.01倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	286 (-) [-]	(-) [-]	302 (-) [-]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	273 (-) [-]	(-) [-]	292 (-) [-]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	145 (-) [-]	(-) [-]	136 (-) [-]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	77 (-) [-]	(-) [-]	76 (-) [-]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A					1.02		1.01			

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	77 [-] (-)	- [-] (-)	76 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	77 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次	/		/		/		[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	77 [-] (-)	[] ()	153 [-] (-)	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	77人	0人	平成28年度	人	人		0.00 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	76人	0人	平成29年度	人	人		0.00 %
合計	153人	0人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<人間総合学部 初等教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
宗 教 学 科 目	キリスト教学ⅠA	1前	1									兼4
	キリスト教学ⅠB	1後	1									兼4 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	キリスト教学Ⅰ	2通	2									兼4
	キリスト教学ⅡA	2前	1									兼5
	キリスト教学ⅡB	2後	1									兼5 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	キリスト教学Ⅱ	2通	2									兼4
	宗教学ⅠA	3前	1									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠB	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠC	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠD	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠE	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠF	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠG	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠH	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠI	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)
	宗教学ⅠJ	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠK	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 辞任、後任未定(29)
	宗教学ⅠL	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 辞任、後任未定(29)
	宗教学ⅠM	3通	2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠN	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠO	3通	2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠP	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠQ	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠR	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)
	宗教学ⅠS	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠT(キリスト教的教育実践法)	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠU	3通	2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠV	3通	2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠW	3通	2									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
	宗教学ⅠX	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠY	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅠZ	3前 3通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)
	宗教学ⅡA	3後	1									兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)
宗教学ⅡB	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡC	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡD	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡE	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡF	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡG	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡH	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡI	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)	
宗教学ⅡJ	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
宗教学ⅡK	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 辞任、後任未定(29)	
宗教学ⅡL	3後 4通	1 2									兼1 通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 辞任、後任未定(29)	

	宗教学IVR	4後	1																通年科目の半期化のため科目を分割、担当者 学長就任のため担当者の変更、後任未定(29)	
	宗教学IVS	4後	1																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	宗教学IVT	4後	1																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	宗教学IVU	4後	1																兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)	
	宗教学IVV	4後	1																兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)	
	宗教学IVW	4後	1																兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)	
	宗教学IVX	4後	1																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	宗教学IVY	4後	1																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	宗教学IVZ	4後	1																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	人間交流力構築演習A	2・3・4前	2																兼1	
	人間交流力構築演習B	2・3・4後	2																兼1	
	ルカ福音書講読演習A	2・3・4前	2																兼1 担当者学長就任のため担当者変更、後任未定(29)	
	ルカ福音書講読演習B	2・3・4後	2																兼1 担当者学長就任のため担当者変更、後任未定(29)	
	宗教と文学・思想演習A	2・3・4前	2																兼1	
	宗教と文学・思想演習B	2・3・4後	2																兼1	
	いのちと家族演習A	2・3・4前	2																兼1	
	いのちと家族演習B	2・3・4後	2																兼1	
	祈りと女性演習A	2・3・4前	2																兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)	
	祈りと女性演習B	2・3・4後	2																兼1 教育の充実を図るため科目を新設(29)	
共通科目	文化と人間	1・2・3・4通	4																兼1	
	哲学Ⅰ	1・2・3・4前	2																兼1	
	哲学Ⅱ	1・2・3・4後	2																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	哲学	1・2・3・4通	4																兼1	
	現代思想Ⅰ	1・2・3・4後 1-2-3-4前 1-2-3-4後	2																	カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	現代思想Ⅱ	1・2・3・4後	2																兼2	
	世界の中の日本思想	1・2・3・4通	4																兼1	
	美学	1・2・3・4通	4																兼1	
	美術史Ⅰ	1・2・3・4前	2																兼1	
	美術史Ⅱ	1・2・3・4後	2																兼1 通年科目の半期化のため科目を分割(29)	
	美術史	1・2・3・4通	4																兼1	
	神話の世界A	1・2・3・4前	2																兼1	
	神話の世界B	1・2・3・4前	2																兼1	
	神話学入門Ⅰ	1・2・3・4前	2																兼1	
	神話学入門Ⅱ	1・2・3・4後	2																兼1	
	コンピュータ文学研究A	1・2・3・4通	4																兼1	
	コンピュータ文学研究B	1・2・3・4通	4																兼1	
	教養としての日本語	1・2・3・4前後 1-2-3-4後 2-3-4後	2																	カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	日本語を磨く(読解力を養う)	1・2・3・4前後	2																	兼2
	日本語を磨く(文章力を養う)	1・2・3・4前後	2																	兼2
	美しい日本語を話す(基礎)	1・2・3・4前後 1-2-3-4前 1-2-3前後	2																	カリキュラム編成上の開講時期の変更(29) カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	美しい日本語を話す(実践)	1・2・3・4前後 2-3-4前後	2																	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
	コミュニケーションのための日本語	1・2・3・4前後 1-2-3-4後	2																	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
	日本中世文化史	1・2・3・4通	4																	兼1
	日本近代文化史	1・2・3・4通	4																	兼1
	日本の外交と社会史	1・2・3・4前後	2																	兼1
	西洋史Ⅰ	1・2・3・4前	2																	兼1
	西洋史Ⅱ	1・2・3・4後	2																	兼1
	歴史からみた現代	1・2・3・4後	2																	兼1
	豊かさの中の経済	1・2・3・4前	2																	兼1
	暮らしと現代経済	1・2・3・4後	2																	兼1
	政治学A	1・2・3・4前	2																	兼1
	政治学B	1・2・3・4前	2																	兼1

憲法	1・2・3・4前後	2						兼1	
法とは何か	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
家族社会学	1・2・3・4前	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
ワークライフ論	1・2・3・4後	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と文学	1・2・3・4後	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と人権	1・2・3・4後	2						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
女性と社会A	1・2・3・4通	4						兼1	担当者辞任、後任未定(29)
男女共同参画と政策	1・2・3・4通	4						兼1	担当者未定(29)
犯罪学概論	1・2・3・4後 4・2・3・4前	2						兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
女性と法	1・2・3・4前	2						兼1	
子どもの権利と国際社会	1・2・3・4通	4						兼1	担当者未定(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅰ	1・2・3・4前	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅱ	1・2・3・4後	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅲ	1・2・3・4前	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
ボランティア・キャリア体験Ⅳ	1・2・3・4後	2 4						兼1	単位数の見直しに伴う単位数の変更(29)
海外ボランティア実践演習A	1・2・3・4前	2						兼1	
海外ボランティア実践演習B	1・2・3・4後	2						兼1	
社会福祉と私たち	1・2・3・4前	2						兼1	担当者未定(29)
児童と家庭の福祉	1・2・3・4後	2						兼1	
国際協力論A	1・2・3・4前	2						兼1	
国際協力論B	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
社会活動におけるマネジメントA	1・2・3・4前	2						兼1	
社会活動におけるマネジメントB	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の開講時期の変更(28)
食農フィールド演習	1・2・3・4通 2・3・4通	4						兼2	カリキュラム編成上の配当年次の変更(28)
食と環境	1・2・3・4前	2						兼1	
環境学のフロンティア	1・2・3・4後	2						兼1	
観光文化論	1・2・3・4後	2						兼1	
住居と人間	1・2・3・4通	4						兼1	学長交代に伴う科目の追加(28)
はじめての心理学	1・2・3・4通	4						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
環境心理学	2・3・4通	4						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
コミュニティ心理学	2・3・4通	4						兼1	教育の充実を図るため科目を新設(29)
現代心理学概論	1・2・3・4通	4						兼1	
パブリックリテラシー	1前	2						兼0 兼7	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
情報リテラシー	1後	2						兼0 兼7	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
ビジネス・コンピュータスキル	2・3・4通	4						兼1	
メディア・デザインスキルA	2・3・4前 2・3・4前後	2						兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
メディア・デザインスキルB	2・3・4前	2						兼1	
アトリエ・リス・プラン・ワークショップ	2・3・4前	4						兼2 兼3	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
スポーツ・健康科学A	1・2・3・4前後	2						兼1	
スポーツ・健康科学B	1・2・3・4前後	2						兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者の変更(29)
スポーツ・健康科学C	1・2・3・4前後	2						兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者の変更(29)
身体運動科学	1・2・3・4通	4						兼1	
教養総合セミナーA	1・2・3・4前後 1・2・3・4後	2						兼1	カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)
教養総合セミナーB	1・2・3・4前後	2						兼1	
教養総合セミナーC	1・2・3・4前	2						兼2	
教養総合セミナーD	1・2・3・4後	2						兼1	
教養総合セミナーE								兼2	履修定員増加に伴い担当者を追加(28)
教養総合セミナーF	1・2・3・4後	2						兼1	

		数と形の世界A	1・2・3・4前 4・2・3・4後	2																カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)		
		数と形の世界B	1・2・3・4後 4・2・3・4前	2																カリキュラム編成上の配当年次の変更(29)		
		自然科学の世界A	1・2・3・4前	2																兼1		
		自然科学の世界B	1・2・3・4後	2																兼1		
		社会と倫理	1・2・3・4前後	2																兼1		
外国語科目	必修	総合英語 I	1前	1																兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(28)	
		総合英語 II	1後	1																	兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		総合英語 III	2前	1																	兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		総合英語 IV	2後	1																	兼14 兼2	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英語コミュニケーション I	1前	1																	兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		英語コミュニケーション II	1後	1																	兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(28)
		英語コミュニケーション III	2前	1																	兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英語コミュニケーション IV	2後	1																	兼14 兼1	教育の充実を図るため担当者を追加(29)
		英講読文法A	1通	2																	兼1	担当者辞任、後任未定(29)
	選択	上級総合英語 I	3・4前	1																	兼1	
		上級総合英語 II	3・4後	1																	兼1	
		上級英語コミュニケーション I	3・4前	1																	兼2 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		上級英語コミュニケーション II	3・4後	1																	兼2 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		English for JFL Teachers I	3通	2																	兼1	
		English for JFL Teachers II	4通	2																	兼1	
		初級フランス語	2・3・4通	2																	兼1	
		フランス語入門	1・2・3・4通	2																	兼1	
		フランス語 I (文法・講読)	1通	2																	兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		フランス語 II (文法・講読)	2通	2																	兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		フランス語 I (会話)	1通	2																	兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		フランス語 II (会話)	2通	2																	兼3 兼4	カリキュラム編成上の担当者数の変更(29)
		ドイツ語 I A	1通	2																	兼2	
		ドイツ語 II A	2通	2																	兼2	
		ドイツ語 I B	1通	2																	兼2	
		ドイツ語 II B	2通	2																	兼2	
		中国語(初級)	1・2・3・4通	4																	兼1	
		中国語(中級)A	2・3・4通	2																	兼1	
中国語(中級)B	2・3・4通	2																	兼1	カリキュラム編成上の科目の分割(29)		
中国語(中級)	2・3・4通	4																	兼1			
韓国語(初級)	1・2・3・4通	4																	兼1			
韓国語(中級)A	2・3・4通	2																	兼1			
韓国語(中級)B	2・3・4通	2																	兼1	カリキュラム編成上の科目の分割(29)		
韓国語(中級)	2・3・4通	4																	兼1			
学部共通科目	子どものイメージ	1・2前	2																	兼1		
	子どもとファンタジー	1・2後	2																	兼1		
	子育て支援論	1・2前	2																	兼1		
	発達と文化	1・2後	2																	兼1		
	学校と発達	1・2前	2			1																
	家庭の教育・地域の教育	1・2後	2			1																
専門科目	コース共通専門科目	初等教育基礎演習A	2前	2			3	2	1													
		初等教育基礎演習B	2後	2			2	3	1													
		初等教育演習A	3前	2			1	3	1													
		初等教育演習B	3後	2			3	2	1													
		キャリア研究	2後	2																	兼1	
		統計データの理解と活用	1前	2																	兼1	
	教科	国語	1前	2			1															

二 に 関 す る 科 目	社会	1後	2		1																					
	算数	1前	2			1																				
	理科	1後	2			1																				
	生活	1前	2		1																					
	音楽	1前後	2			1																				
	図画工作	1前後	2				1																			
	家庭	1後	2																		兼1					
	体育	1前後	2			1																				
	音楽演習(器楽)	1・2・3・4前後	2																			兼1				
	音楽演習(合唱)	2・3後	2																			兼1				
	図画工作演習(造形・描画)	2・3後	2					1																		
	体育演習(水泳)	2・3前	2																			兼3				
	体育演習(体づくり・器械運動)	2・3後	2																			兼1				
	言語表現	1後	2						1																	
	コ ー ス 共 通 科 目	教 職 に 関 す る 科 目	教育原理	1前	2																		兼2 兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)		
教育心理学			1後	2		1																				
教育の制度と経営(幼・小)			1後	2																			兼1			
教育方法			2後	2		1																	兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)		
教育実習(幼・小)			3通 3後~4前	4		4	1	1																		
教育実習(幼・小)事前事後指導			3通	1		3		1																		
児 童 教 育 コ ー ス 科 目	教 職 に 関 す る 科 目	教職論	1前	2		1																				
		教育課程論	2前	2		4																	兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)		
		初等国語科指導法	1後	2		1																				
		初等社会科指導法	2前	2		2																				
		初等算数科指導法	1後	2			1																			
		初等理科指導法	2前	2			1																			
		初等生活科指導法	1後	2		2																				
		初等音楽科指導法	2前後	2																			兼1			
		初等図画工作科指導法	2前後	2																			兼1			
		初等家庭科指導法	2前後	2																			兼1			
		初等体育科指導法	2前後	2																			兼1			
		道德教育	1後	2																			兼1			
		特別活動	2後	2		1																				
		生徒指導・進路指導	2後 3前	2		2 4																		兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)	
		教育相談(小)	3前 2後	2		4																		兼1	教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)	
		教職実践演習(小)	4後	2		3																				
		教 科 又 は 教 職 に 関 す る 科 目	教 科 又 は 教 職 に 関 す る 科 目	教育体験Ⅰ	1後	1		1																		
				教育体験ⅡA	2前	1		2																		
				教育体験ⅡB	2後	1		2																		
				教育体験ⅢA	3前	1		1																		
				教育体験ⅢB	3後	1		1																		
総合的な学習の時間	3・4後			2		1																				
小学校外国語活動Ⅰ	3・4前			2																			兼1			
小学校外国語活動Ⅱ	3・4後			2																			兼1			
学級経営論	3・4前			2		1																				
学校経営と学校図書館	3・4前			2																			兼1			
学校図書館メディアの構成	3・4前			2																			兼1			
学習指導と学校図書館	3・4前			2																			兼1			
読書と豊かな人間性	3・4後			2																			兼1			
情報メディアの活用	3・4前			2																			兼1			
幼 児 教 育 コ ー ス 科 目	教 職 に 関 す る 科 目	保育者論	1後	2		1																				
		保育課程論	2前	2																			兼1			
		保育内容総論	2通	4				1															兼1			
		保育内容演習(健康)	3前	2			1																			
		保育内容演習(人間関係)	3後	2																				兼1		
		保育内容演習(環境)	3後	2																				兼1		
		保育内容演習(言葉)	3後	2																				兼1		
		保育内容演習(表現)	3前	2			1																			

	幼児理解	3前	2			1													
	教育相談(幼)	3前 2後	2			4													兼1
	保育・教職実践演習	4後		2		1	1	1											
保育に関する科目	保育原理	1前	2			1													
	児童家庭福祉	1前	2			1													
	社会福祉	2後	2																兼1
	相談援助	3前	2			1													
	社会的養護 I	1後	2			1													
	社会的養護 II	3前		2															兼1
	保育の心理学 I	1後	2				1												
	保育の心理学 II	3前	2			1	1												
	子どもの保健 I	1通	4																兼1
	子どもの保健 II	3後	1																兼1
	子どもの食と栄養	2前	2																兼1
	家庭支援論	2後	2																兼1
	乳児保育	2前	2																兼1
	障害児保育	3前	2																兼1
	社会的養護内容	4前	2																兼1
	保育相談支援	4前	2			1													
	保育体験 I	1後		1		1	1	1											
	保育体験 II A	2前		1		1		2											
	保育体験 II B	2後		1			1	2											
	保育実習 I	3通		4		2													
	保育実習指導 I A	2後		1		2													
	保育実習指導 I B	3前		1		2													
	保育実習 II	3前		2			1												
保育実習指導 II	3前		1			1													
保育実習 III	4前		2		1														
保育実習指導 III	4前		1		1														
隣接領域科目	介護等体験の事前事後指導	2前		2															兼1
	児童文化・子ども論	2・3・4後		2															兼1
	児童文学・日本C	1・2・3・4前		2															兼1
	児童文学・日本D	1・2・3・4後		2															兼1
	おもちゃ論A	1・2・3・4前		2															兼1
	絵本論	1・2・3・4後		2															兼1
	心理学概論A	1前		2															兼1
	心理学概論B	1後		2															兼1
	臨床心理学	3・4後		2															兼1
	発達心理学概論A	2前		2															兼1
	発達心理学概論B	2後		2															兼1
	発達臨床心理学概論	2前		2															兼1
発達障害特講	3・4後		2															兼1	
卒業研究	4通	4			5	4	2	0	0	0									

教職課程認可申請時の指摘に伴う変更(28)

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 65	科目 202	科目 0	科目 267	科目 67 [2]	科目 280 [78]	科目 0 [-]	科目 347 [80]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	男女共同参画と政策	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
2	子どもの権利と国際社会	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
3	社会福祉と私たち	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者未定。代替措置なし。
4	児童と家庭の福祉	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者の担当コマ数上限を超えるため未開講、代替措置なし。
5	ルカ福音書講読演習 A	2	2・3・4前	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
6	ルカ福音書講読演習 B	2	2・3・4後	一般	選択	担当者学長就任、後任未定のため未開講、代替措置なし。
7	暮らしと現代経済	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当者辞任、後任未就任のため未開講、代替措置なし。
8	政治学 B	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当者辞任、後任未就任のため未開講、代替措置なし。
9	女性と社会 A	4	1・2・3・4通	一般	選択	科目新設に伴う科目調整のため未開講、代替措置なし。
10	英講読文法 A	2	1通	一般	必修	外国語科目見直しのため未開講。「総合英語」で代替。

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

一般教養科目については選択科目であり、他に多くの一般教養科目が設置されていることから、学生の履修については他の科目で補うことができる。「英講読文法 A」は外国語必修科目「総合英語 I/II」に対する英語未修者用科目であるが、「総合英語」で未修者対応が可能であることから未開講としている。学生には履修要覧に記載するとともにガイダンス等で周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{10}{267} = \boxed{3.74\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	43,077㎡	0㎡	0㎡	43,077㎡			
	運動場用地	10,943㎡	0㎡	0㎡	10,943㎡			
	小 計	54,020㎡	0㎡	0㎡	54,020㎡			
	そ の 他	1,270㎡	0㎡	0㎡	1,270㎡			
	合 計	55,290㎡	0㎡	0㎡	55,290㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(28,212㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(28,212㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	39室	15室	10室	4室 (補助職員 2人)	3室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	人間総合学部		29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書 322,151 〔109,025〕 (292,306〔109,223〕) (291,013〔105,719〕) (296,036 〔105,301〕) 学術雑誌 5,756〔918〕 (4,386〔934〕) (4,457〔952〕) (4,278〔894〕) 廃刊あるいは洋雑誌費高騰による中止などのため(29) 洋雑誌費高騰により図書の購入に影響が出たため(28)
		冊	種	種	点	点	点	
	人間総合学部	(23,132〔6,740〕) (22,115〔6,597〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (159〔57〕) (154〔54〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (140) (113) (156)	91 (76)	0 (0)	
	計	34,704〔7,914〕 (23,132〔6,740〕) (23,644〔6,666〕)	171〔63〕 (159〔57〕) (123〔39〕)	46〔36〕 (31〔21〕) (30〔20〕)	780 (140) (156)	91 (76)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,769㎡		217	320,556				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	1,547㎡		テニスコート3面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コストを含む)を含む。 実績に基づき設備購入費を変更(29) 予定していた共同研究が停止したため共同研究費を変更(28) 2015年度実績に基づき図書購入費を変更(28) 見込んでいた工事が完了したため設備購入費を変更(28)
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	18,000千円 21,000千円	21,000千円 28,000千円	
	共同研究費等	3,000千円 4,000千円	3,000千円 4,000千円	設備購入費	34,600千円 37,000千円	8,450千円 10,000千円 24,000千円	8,450千円 10,000千円 24,000千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	1,450千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資金運用収入、寄付金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学 定 員 超過率	開 年 設 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
文学部									
国語国文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.15	昭和40年度	同上	
フランス語フランス文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.18	昭和40年度	同上	
英語英文学科	4	100	-	400	学士 (文学)	1.14	昭和40年度	同上	
児童文化学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和60年度	同上	平成28年学生募集停止
人間総合学部									
児童文化学科	4	50	-	100	学士 (児童文化 学)	1.26	平成28年度	東京都調布市緑ヶ丘1丁 目25番地	
発達心理学科	4	50	-	100	学士 (心理学)	1.23	平成28年度	同上	
初等教育学科	4	75	-	150	学士 (教育学)	1.01	平成28年度	同上	
文学研究科									
修士課程・博士課程（前期）									
発達心理学専攻	2	10	-	20	修士 (心理学)	0.70	平成2年度	同上	
児童文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	1.16	平成2年度	同上	
国語国文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.66	平成6年度	同上	
フランス語フランス文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.41	平成6年度	同上	
英語英文学専攻	2	6	-	12	修士 (文学)	0.33	平成7年度	同上	
博士課程（後期）									
発達心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理学)	0.41	平成4年度	同上	
児童文学専攻	3	3	-	9	博士 (文学)	0.66	平成7年度	同上	
言語・文学専攻	3	5	-	15	博士 (文学)	0.46	平成9年度	同上	

大学の名称	仙台白百合女子大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間学部									
人間発達学科 子ども発達専攻	4	90	0	360	学士 (人間科 学)	0.78	平成8年度	宮城県仙台市泉区本町 6番1号	
心理福祉学科	4	70	0	280	学士 (人間科 学)	0.64	平成25年度	同上	
健康栄養学科 管理栄養専攻	4	80	0	320	学士 (人間科 学)	0.99	平成14年度	同上	
グローバル・ スタディーズ学科	4	60	0	240	学士 (人間科 学)	0.83	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5. 教員組織の状況

個人情報を含む内容のため、省略します。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	同一設置者が設置する 既設学部等（仙台白百 合女子大学人間学部人 間発達学科、心理福祉 学科）の定員充足率の 平均が0.7倍未満と なっていることから、 学生確保に努めるとと もに、入学定員の見直 しについて検討するこ と。	改善意見	報告時の平均入学定員超過 率の数値に誤りがあった （単年度の数値を記載）。 実際には人間発達学科は 0.86倍、心理福祉学科は 0.74倍となる。

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<人間総合学部 初等教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD推進委員会 白百合女子大学FD推進委員会規程（添付）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 委員会は月1回、定期開催をする。 全学的な委員会のため、教員は、各学科等を代表する者が参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等 授業改善アンケートの改善と結果の活用について検討を行っている。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業改善のための学生アンケート/専任教員所見票回収/改善点検討 ・ FDワークショップ ・ よりよい学びのための学生懇話会（学部・大学院）等 <p>b 実施方法 授業改善のための学生アンケートは開講期末（前期科目は前期末、通年科目と後期科目は後期末）に実施されている。またアンケートの結果を用いて、学生からの評価の高い教員への表彰を行うことを検討している。2016年7月には現状のアンケートについて、教員を対象に意見を募り、それをもとに見直しを検討している。 FDワークショップについては2017年6/1（木）に大学教育改革の動向に関する学習会と、学生の学びを深める取り組みに関する情報交換会を実施予定である。 よりよい学びのための学生懇話会については学部と大学院を交互に隔年実施している。2016年度は学部生を対象に実施した。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 授業改善のための学生アンケートは原則全科目対象としている。FDワークショップについては専任教員は必須参加とし、欠席者には後日ビデオ学習をを求める予定である。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

授業改善のための学生アンケートについては、教員ごとに集計され担当教員へ結果が通知され、各教員がそれぞれ改善に努め、専任教員については所見票を提出することになっている。また希望する教員については、大学ホームページ上で学生の意見に対する回答を公開することも可能になっているが、教員がコメントを公開していることについて学生の認知度が低いことが学生懇話会などを通じてわかり、改善点や改善への取り組み姿勢が学生に伝わるよう伝え方を改善することも課題になっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

年2回（前期末・後期末）実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員および学生に対しては、全体のまとめと問題点を大学HP上にWEB公開している。また教員には個別に結果を報告している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置第2年次にあたり、新入生76名（内、幼児教育コース57名、児童教育コース19名）を迎えることができた。一般入試の正規合格者倍率2.1倍をはじめ、いずれの入試枠でも多くの受験生の応募があり、安定的に入学者を確保することができた。学生たちは将来の教師・保育者として社会に貢献していこうとする熱意にあふれており、今後の学修の成果が期待される。これも、オープンキャンパスをはじめ、高校への出前授業などを通じて、初等教育学科の設置の趣旨や目的、そして本学の建学の精神を周知する活動を重ねた成果と評価している。

計画した教育課程の実施も順調に進み、2年次までの科目をすべて開講することができた。なかでも本学科の特色の一つとしている「保育体験」「教育体験」が本格的に開始され、地域の保育所や小学校で2年次学生全員が子どもと直接関わり、保育者や教師の活動を目の当たりにしており、学内での講義・演習では得られない実体験をもとにした保育・教育の学修を深めている。

また研究活動においては、設置1年目ながら、専任教員が所属する「全国大学国語教育学会」「保育者養成教育学会」の2016年度の年次大会開催校となり、学界への貢献はもとより、地域社会への学問的知見の還元、そして学生の学修の機会としても得難いものとなった。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年4月 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年4月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成29年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく申請済み。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年7月1日)

白百合女子大学FD推進委員会規程

(設置)

第1条 本学は、教授法や授業運営などの改善や教育活動にかかる知識・技能・能力の獲得または向上を組織的に支援するためにFD推進委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(任務)

第2条 委員会は、全学のファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動が持続的に実行されるよう、次に掲げる事項を行うとともに、各年度におけるFD活動の推進機能を併せもつものとする。

- (1) FD活動に向けた諸施策の企画・立案
- (2) FD活動実施の推進
- (3) FD活動の評価
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供
- (5) その他、第1条に掲げる設置目的達成のために必要な事項

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 各学科および各教育センターより選出された教員各1名
- (2) 学長が委嘱する教員若干名
- (3) 学長が委嘱する職員若干名
 - 2 委員長は委員の中からの互選とする。
 - 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(部会)

第4条 委員会は、第2条に掲げる事項に関し専門的作業を行うため、部会を置くことができる。

(事務)

第5条 委員会の事務は、教務部教務課が担当する。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附則 この規程は、2008年(平成20年)4月1日から施行する。
この規程は、2010年(平成22年)4月1日から施行する。
この規程は、2013年(平成25年)4月1日から施行する。
この規程は、2016年(平成28年)4月1日から施行する。